

第12課 大きい声で読んでください

大切な表現

1. 動詞「て形」
2. ちょっと待ってください。
3. 傘を貸していただきませんか。
4. コンピュータの使い方を教えてくださいませんか。
5. 窓を閉めましょうか。

Can-do／学習目標

- ・人に何か指示をしたり、頼んだりすることができる。
- ・何か手伝いたい時に申し出ることができる。

文法項目

1. 動詞の「て形」
2. ～てください
3. ～てくださいませんか
4. [名詞]の[動詞ます形]＋方
5. ～ましょうか

導入

1. 動詞の「て形」

- ① p53の重点句型1を見せ、「て形」が使われる場面を紹介する。
- ②50音表を準備し、動詞の分類を「第2類動詞」→「第3類動詞」→「第1類動詞」の順で復習する。
- ③ p54～55の重点句型1を見せ、「第2類動詞」→「第3類動詞」→「第1類動詞」の順で「て形」の作り方を教える。

2. ～てください

- ①板書 **動詞て形**＋ください。(命令・指示・依頼表現)
- ②教室でできる指示を出し、学生に実際に行動してもらおう。
先生：みなさん、立ってください。座ってください。名前を書いてください。

3. ～てくださいませんか

- ①板書 **動詞て形**＋くださいませんか。
(丁寧な依頼表現：対象は初対面の人・目上の人など)

②まずは、「**て形**＋くださいませんか。」への動詞レベルでの変換練習をする。

A: 書きます

B: 書いてくださいませんか。

来ます・説明します・案内します・手伝います・作ります・待ちます
話します・会います・食べます・教えます・助けます・飲みます…

③次に、「辞書形」から「**て形**＋くださいませんか。」への文レベルでの変換練習をする。

A: お金を貸す

B: お金を貸してくださいませんか。

30分待つ・ドアを開ける・窓を閉める・ペンを貸す・エアコンをつける
電気を消す・ゆっくり話す・荷物を持つ・写真を撮る・ご飯を作る…

4. [名詞] の [動詞ます形] 十方

①板書 **名詞**の**動詞ます形**十方 (名詞: 方法表現)

②p56の重点句型4を見せ、作り方を「第1類動詞」→「第2類動詞」→「第3類動詞」の順で教える。

③「**名詞**の**動詞ます形**十方十を教えてください」への文レベルでの変換練習をする。

A: お寿司を作ります

B: お寿司の作り方を教えてください。

漢字を読みます・手紙を書きます・ピアノを弾きます・みそ汁を作ります
コンピュータを使います・コーヒーを入れます…

5. ～ましょうか

①板書 **動詞ます形**十ましょうか。(提案・勧誘表現)

②まずは、「**て形**十ましょうか。」への動詞レベルでの変換練習をする。

A: 書きます

B: 書きましょうか。

読みます・撮ります・貸します・持ちます・手伝います・消します
開けます・閉めます・掃除します…

③次に、「辞書形」から「**ます形**十ましょうか。」への文レベルでの変換練習をする。

A: 窓を開ける

B: 窓を開けましょうか。

ドアを閉める・教科書を貸す・コピーをする・エアコンをつける…

教え方のワンポイント

1. 動詞の「て形」

練習1 動詞の「て形」

- *まず、「第2 & 3類動詞」で「て形」を作る練習をする。
- *次に、「第1類動詞」の「て形」を作るルールを言う練習をする。
- *そして、「第1類動詞」で「て形」を作る練習をする。
- *それから、全ての分類の動詞をランダムに「て形」にする練習をする。
- *時間に余裕があれば、「辞書形」→「て形」、「て形」→「辞書形」の練習をさせてもいい。

2. ～てください

練習2 ちょっと待ってください。

- * 第5課の「**名詞**をください」との違いを説明する。
- * 動詞の前の助詞に注意しながら、練習をさせる。
- * 下記のような教室でできる動作の指示カードを準備し、学生に実際に行動してもらおう。

立ちます

荷物を持ちます

A: Bさん、すみませんが、立ってください。

B: はい。(立ちます)。では、Aさん、すみませんが、荷物を持ってください。

A: はい。(指示された荷物を持ちます)

会話1

- * 会話1の音声を聞いた後、p47 (←会話1ではp48になっているが)の練習3の例文を実際に読ませ、ここでは意味や文型の詳細は説明せず、読む練習に徹する。
- * 会話に慣れたら、ページ数と練習を入れ替え、練習をする。

会話2

- * 会話の状況を理解しにくい学生もいるので、状況を中国語で説明する。
- * 「ここから入ってください。」の助詞「から」は動作の起点を表すと説明をする。
- * 「どうも」は「ありがとうございます」と同じ意味だが、ここでは心からの感謝というよりも形式的な感謝表現なので、「どうも」を使用すると伝える。

3. ～てくださいませんか

練習3 傘を貸しててくださいませんか。

- * 動詞の前の助詞に注意しながら、練習をさせる。
- * 「～てください」と比較し、「～てくださいませんか」は丁寧な言い方で、その対象は初対面の人、年配の人、自分より社会的な地位が高い人などに使用すると教える。

4. [名詞]の[動詞ます形]＋方

練習4 コンピュータの使い方

コンピュータの使い方を教えてくださいませんか。

- * p56の重点句型4を見せ、助詞「を」を使う動詞で、この文型の作り方を「第1類動詞」→「第2類動詞」→「第3類動詞」の順で教える。
- * 「第3類動詞」には下記のような状況があることも伝えておく。

板書 ① 勉強をします。



② 日本語を勉強します。



*名詞の後の助詞は「の」に変わると教える。また、方向性表現の助詞「へ」と終点を表す助詞「まで」は、後ろに「の」がつくと教える。

板書 お寿司を作ります。 馬に乗ります。 銀行へ行きます。

↓ ↓ ↓
お寿司の作り方 馬の乗り方 銀行への行き方

*「教えてくださいませんか」の対象を表す助詞は「を」だが、「わかります」の対象を表す助詞は「が」と伝える。(其他文法事項2)

5. ~ましょうか

練習6 A: うるさいですね。
B: 窓を閉めましょうか。
A: ええ、お願いします。

*10. の「僕は彼女がいません」の表現を説明する。(其他文法事項1)

*練習6の練習が終わったら、右記のようなカードで、会話練習をする。

A: Bさん、今日の宿題を手伝いましょうか。

B: { はい、 } お願いします。
{ ええ、 }

いいえ、 { けっこうです。
{ 大丈夫です

今日の宿題を手伝う

会話3

*「これをコンピュータで打ってください。」は「コンピュータでこれを打ってください」と同じ意味だと伝える。助詞「を」と動詞間に距離があり、理解しにくい学生もいる。

*「今、忙しくて…。」の「て形」は原因理由表現だと伝え、「わたしは今、忙しくて、鈴木さんにコンピュータの使い方を教える時間はありません。」を省略した文だと教える。